

総社市教育委員会会議録

- 1 開 会 平成30年3月9日 午前 9時26分
- 2 閉 会 平成30年3月9日 午前10時26分
- 3 場 所 保健センター2階 資料展示室

4 出席又は欠席した委員

出席委員

教育長	山 中 榮 輔
教育長職務代理者	米 谷 正 造
委 員	小鍛治 一 圭
委 員	三 宅 眞砂子
委 員	上 岡 仁

欠席委員

委 員	林 直 人
-----	-------

5 会議に出席した者

教育部長	服 部 浩 二
参事兼庶務課長	弓 取 克 哉
学校教育課長	北 川 和 美
こども夢づくり課長	西 村 佳 子
生涯学習課長	横 田 優 子
文化課長	永 田 忠 幸
学校教育課主幹	下 山 郁 子
庶務課課長補佐	岩 佐 知 美

6 会議録署名委員

山 中 榮 輔	小鍛治 一 圭
---------	---------

7 付議事件

議案第13号 平成29年度総社市スポーツ振興表彰（藤岡郁海賞）について 原案可決
議案第14号 平成29年度末校長・教員等の人事異動について

8 議事の概要 別紙のとおり

開会 午前9時26分

山中教育長 ただいまから教育委員会を開会いたします。

この教育委員会には、議案2件が付議されております。なお、議案第14号については、人事案件であり、議事の都合により、報告事項の後に審議したいと思います。

では、会議録の署名委員についてであります。会議録署名委員は、会議規則第16条の規定により、私のほか、出席委員中、小鍛治委員にお願いします。

山中教育長 では、まず、議案第13号「平成29年度総社市スポーツ振興表彰（藤岡郁海賞）について」事務局から説明願います。

横田生涯学習課長 【事務局説明】

山中教育長 ただいま事務局から説明がありました議案第13号について質問はありませんか。
(質疑なし)

山中教育長 お諮りいたします。議案第13号について原案のとおり可決してよろしいか。
(異議なし)

山中教育長 ご異議がないようですので、議案第13号については原案のとおり可決しました。

山中教育長 では、教育長報告をいたします。現在議会中でありまして、教育委員会に対していろんな質問がありました。保育所、通学路、給食等々、後ほど教育部長のほうから詳細を説明いたしますので、よろしく願いいたします。

それから待機児童の件ですけれども、来年度はゼロからスタートが出来るのではないかと微妙なところですが、預かり保育、早朝預かりを増やしましたので、ここでプラス9名、今年度のスタートのところはだいたい127名預かり保育、今年度現在でプラス20名ぐらいで146名ぐらいになっておりまして、これが期中ですのでまた増えてくると思います。端的に申し上げますと、市中央部の常盤がほとんどもういっぱいになってしまっています。南幼とか周りが少しまだ余裕があるのでそちらのほうに回したいと思っています。

それから3点目は、来年度何とか兼務園長の解消を目指して、服部部長、西村課長以下努力してあたっているところで、微妙なところですが何とかいけるのではないかと考えております。

次に、来年度から通級きらりに管理職が配置される予定です。多分教頭職となると思います。それともう1名県費で配置があります。いろんなことを提案してきたんですが、特別支援の子ども達の比率が2割近くになって来ている。今年も180名エントリーされています。全体でいうと3割近い訳でありまして、その中から選別していくということになって、特別支援を必要とする子ども達をどういうふうを選んでいくかという組織と、もう一つは、きらりを中心として、特別支援の縦系、横系じゃないですけど、学校ごとには校長がコントロールするんですが、横軸がない。半分以上が非常勤で、この人たちは専門的な教育を受けていないので、スキルも低い。それからいろんな情報も共有できていないということで、その縦系、横系の要になるような組織をきらりの中に作りたいたいと思っています。幸い管理職の配置がありますので、この管理職を中心に仕組みを作って、来年度は進めていきたいと思っています。以上です。

山中教育長 次に、報告事項等に移りますが、まず「学校評価について」事務局から説明願います。

北川学校教育課長・下山学校教育課主幹 【事務局説明】

山中教育長 ただいまの事務局の説明に対するご意見等はありませんか。

【質疑・答弁】

米谷委員 昨年高知に視察に行かせていただいた時に、保幼小の連携というところで、色々勉強させていただきまして、今回その観点から幼少の連携とか見させていただくと、交流も非常に密になっているなど。中学校も含めてですが、先生方が非常に大変ご苦労なさって、いい成果を出されているなどと思いました。その中でも幼小の幼の所で、アプローチカリキュラムという言葉も出てきているということがありましたので、これからより一層、交流からまた次のステップへこれから踏み出されるのかなと期待させていただけるような評価だったなどと思います。以上です。

山中教育長 校長会から、来年度、幼少連携のための人員配置をして欲しいという提案がありました。我々が言うのではなく学校側からそういう提案があったということで、それぐらい意識が上がってきたんだと思います。

三宅委員 その連携ということで、この中にも各施設のほうから書かれてるんですけど、きらめき交付金の中で事業をすることによって、連携がすごく根付いたというふうに感じます。これを見ていて、中学校区ごとに学校評価みたいなを出していただけると、割と地域での特性があるので、中央部とそれから昭和地区とかそれから総社中の地区もそれぞれ特徴があるので、その中で地域の方との連携をすごく頑張っているところとか色々あるので、中学校区ごとにまとめていただけたら。私の勝手な思いですが、それから見るのも簡単かなと。

山中教育長 おっしゃる通りですので、ちょっと工夫して考えてみます。

小鍛治委員 三宅委員さんと同じで、もっと分かりやすくシンプルにさせていただけたらいいかなと思いました。それで一つ感想なんですけど、割と多くの反省点の所で、やっぱり学校評議委員の選出とか、人数がばらばらであったり非常に少ないところもあったりもしますので、少しでも多いほうがいいのかと思いますけど、日程の調整とかそういうところで会議がしにくいのかな、そこを何かいい案があればいいのかなというふうに思いました。

それと一つ気になったんですけど、やっぱり役職とか、なぜこの方がここに書かれているのか、という、PTAとか元校長先生とかそういう役職を書いていたほうが、見やすいのかなと思いました。

山中教育長 他にご意見はありませんか。

上岡委員 いい点は下山主幹さんが全部言われているので、その通りだと思います。地域に開かれた信頼される学校づくりが出来つつあるなどと思います。本当に地域の協力もこれで横の絆が深まって、学校の応援団が増えていっているなどということが良く分かりました。

まだちょっとどうかなというところだけ言わせてください。けちをつける訳では全くないので考えていただければと思います。まず自己評価が軸になるというところがですね、ちょっと意識

が弱いのかなと思うんですね。自己評価が学校評価の軸になるという。学校が自分の教育目標の達成のためにPDCAを回している。それが軸になってそれを学校関係者評価が結果を見る訳ですね。適切さを。その関係が分かっているとは思いますが、評価書にはちょっと見えてこない。例えば総社小学校とか、中央小学校は、別紙のところ、自己評価の適切さというのが学校関係者評価。例えば4ページとかはちゃんとあるんですね、つまり学校関係者は、単なる学校運営に対してものを言うだけでなく、学校評価がきちんとなされているかどうかを見るのが仕事なんで、それをちゃんと書いてますね。同じように7ページもちゃんと出来ている訳です。中央小とかですね。そういうことがまず他の学校にはなかなか出来てないというか。別紙になくても、例えば西中だったか、学校によってはその別紙のところでは書かなくても、全体のところで項目が全て適切かどうか学校評価が適切になされているということが書かれておけばいいんですけど、例えば中学校のほうでしたら中学校の5ページの3番の学校管理者評価の下から3つ目ですね。

「どの取組にも先生達はがんばっているし、自己評価も適正である。」その一言がやっぱり必要なんですよ。それから学校関係者評価の人が、本当は自分の仕事は何なのかというのがもうちょっと明確にする必要があるかなと。ただ意見をば一つと言うことではなくて、学校の自己評価が適切かどうかを見るんだよと。ただ役としては学校評議員も兼ねているから、意見を表明することは出来るんだけど、この場合には、学校評価が適切かどうかについて意見を言ってもらって、それを集約するという、そここのところがまだ曖昧になっているので。それが1点目です。

それから2点目はですね、小学校の11ページを見てください。良くされているんですよ。良くされている上で、さっき言ったように、学校の自己評価が基本なのに、自己評価、1番の自己評価で「学校評価資料の通り」って言ってしまったら駄目でしょ。ここの所をしっかりと書いてもらって、むしろ別紙はなくてもいい訳ですから。そういうことからすればですね、これがどうなのかなって話ですね。

それから3点目、例えば小学校の21ページを見ていただけたら。秦小ですけど。毎朝、秦小見て通勤してます。帰りも灯がともってるかなと関心を持って、帰ってるんですけど。3番に学校関係者評価があって、その一番下の丸のところに「学力検査の資料を基にした分析や方針を詳細に説明していただき、現状についてもよく分かった。」本当に地域が一体になって来つつあるかなってそう思います。ただこれをですね、学校評価をそのためには十分まだ使えていないところがあります。例えば21ページを見ると、別紙があるんですけど、一番左が学校経営目標、それから具体的目標があって、今年度の達成基準があるんだけど、これ何をどの程度までやるのか書いてないんですよ。何をどうやってそれを測るか書いてないんですよ。これは学校評価になっていません。それをどうやってAとかBとかをつけたんだという話なんですよ。それから学校関係者評価も、ただ意見を言ってるだけで、実行評価に対してそれが適切だったかどうかというのを書いていません。詰めが、学校評価がまだ十分にその学校の中には根付いてないのかなというのを伺えました。

あと総社小学校を見ていただければと思うんですけども、細かいことなんですけど1ページ

のところのⅡの分析・改善方策ですか、その中に柱が「心の教育の充実」があつて①云々というのがこれ今年度の具体的な目標なんでしょうけども、それに対してやったことを書いていて、一番下のところにちょっと太字で、進んで挨拶のアンケート結果は児童89%、保護者81%、教職員70%だったと。これを見て皆さん何かおかしいと思いませんか。つまり進んで挨拶をするということについて3方向からアンケートをしているわけですね、子どもに対して「したか」「やったか」、保護者にはそういう姿が見えたか、先生については挨拶をちゃんとやるということを指導したか、ということを問うてまとめている訳で、先生が70%しかやってない。それ見たら親は怒りますよ、っていう話ですよ。片岡先生これはどういうこと、って電話でお尋ねしたら、先生方は今までと比較して答えたらしいです。それっておかしいでしょ。今年やったことでちゃんと答えてもらわないと。誤解を生むので。そういうところがちょっと弱いかな。意識がね。そんなことを思いましたし、2ページのところの3番の「確かな学力の向上」の④のところに「生活科、社会科、総合的な学習の時間の充実により社会参画力を培う」とあるでしょ。それについて云々書いているんだけど、これ十分に出来なかったことを言ってるんだけど、別紙の5ページを見てください。上からの表があつて④のところを見ると、「生活科、社会科、総合的な学習の時間の充実により社会参画力を培う（総社を愛す子供）」のその横の具体的なその達成基準が「国語と算数の単元テストで80点以上・・・」これと全然違うでしょ。だからその辺がちょっと甘いよね。そんなことを思いました。

それとですね、中学校の10ページを見てください。総社中学校です。中学校のほうは良く出来てるんですけど、評価書別紙ですね。学校関係者評価の方が、最初の表側のほうには自己評価の適切さをちゃんと示されています。別紙を見るとですね、うん？と思ったのが、それぞれの項目で達成基準が70%なんです。70でAが増える訳です。これを他の中学校と同じように、仮に80%にしたら、Cがたくさんつく。意識の問題で、Aをとる必要ないんですから。形や見栄えじゃなくて実質を取って、やっぱりやることの中身もあれば、達成基準をどこにするかというの併せて考えて、本当に学校の改善をしようと思うんならちょっとレベルを高めにつけるでしょう。出来るなと思ったら出来る度合いをちょっと高めに設定するのが普通なのに、70だったらそりゃ全部Aになってしまうでしょうという話です。これを80にしたらですよ、Cが少なくとも2つはつくと思うんですね。Bも増えると思います。そういうところをやっぱり校長先生か教頭先生にやって頂きたいなと。見栄えじゃないので、こんなことしてたら学校力は上がらないし最終的には生徒の学力は付かないです。これでいいんだよ、で終わってしまう。

それともう一つは幼稚園のほうですが、幼稚園はすごい、本当によくやってくれるなと思いました。一箇所だけあれっと思ったのが、終わりのほうに山田幼稚園があると思います。山田幼稚園の別紙のほうなんですけど、1番の豊かな心情を培うというところがあつて、上から三つ目に「地域の自然に触れて伸び伸びと遊ぶ中で、豊かな感性を養う」というのがあつて、達成基準が「自然体験や、収穫体験を行う園外保育を1学期に5回以上、2学期に5回以上、3学期に3回以上実施する」、自己評価は中間と最終があるんですが、C、Cと来て、総合評価になったらB

になっている。これどういう説明をされるんですかな。これはおそらくCですよ。こういうところがちょっとまだ甘いのかな。皆さんで見られてますか、という話ですね。園長先生と主任だけで作ったらこんなことになるので。忙しいと思うんですけど、人数が少ないところかな、でも人が増えてると書いている。そういったところで、もうちょっとこう学校評価の軸になる自己評価と学校関係者評価の関係をはっきりさせるといことと、学校自己評価をする時にはやっぱりちょっと背伸びするような設定をして、Cがついてもまったく恥ずかしくない、それをちょっとでもBにしようとする営みが大切なんだということをご指導いただければありがたいかなと思います。長々とすいません。

山中教育長 ご指摘ありがとうございます。ご意見は反映して、標準化する事が大事だと思います。ただ、これは今までなかったの、ここまで来たということはかなりレベルが上がったということです。ご指摘のようにして、次は高いところを目指してまいりたいと思います。よろしく願いいたします。

山中教育長 他にご意見はありませんか。

山中教育長 次に、「第2次総社市教育振興基本計画について」事務局から説明願います。

弓取庶務課長 【事務局説明】

山中教育長 ただいま事務局の説明に対するご意見等はありませんか。

【質疑・答弁】

上岡委員 この示されたものが、直るということですね。

弓取庶務課長 はい、そうです。直す方向で。

山中教育長 他にご意見はありませんか。

山中教育長 それでは、他にご報告等はありませんか。

弓取庶務課長 【きらめき交付金の実施状況報告について説明】

山中教育長 では、今回の教育委員会の日程についてであります。既に通知しておりますとおり、3月22日午後2時から開催いたしますので、ご参集願います。

山中教育長 次に、人事案件であります議案第14号「平成29年度末校長・教員等の人事異動について」の審議に入ります。

本件については、議案の性質上、非公開としたいと思いますが、いかがでしょうか。

(異議なし)

ご異議がないようですので、本件の審議は非公開といたします。関係職員以外は退席願います。

【こども夢づくり課長・生涯学習課長・文化課長・学校教育課主幹退席】

山中教育長 では、議案第14号「平成29年度末校長・教員等の人事異動について」事務局から説明願います。

【非公開審議】

山中教育長 お諮りいたします。

議案第14号について可決してよろしいか。

(異議なし)

山中教育長 ご異議がないようですので、議案第14号については可決されました。

山中教育長 このあと部長から議会の報告があります。

服部教育部長 いつもは口頭で議会の質問についてお答えしていたんですが、今回ペーパーにしました。まだ議会中でございますけど、一般質問のほうが火曜日に終了いたしました。計13名からの質問ということで、教育委員会関係のものが結構ございました。

そのうち、紙を見ていただいて、何点かだけご説明いたしますと、2人目の三上議員、調理場関係のご質問でした。新しい調理場が今建設にかかっておりまして、31年の夏頃に出来て2学期から提供すると。新しい調理場では給食を作る以外に、地域とか市民の交流事業はどうなるんですかというご質問でした。今回の調理場、2階には1階の調理の様子を見学できるスペースがありまして、会議室も当然併設しております。ですので、見学をしていただいて、その日の給食を一緒に頂いて、食育のお話を聞いていただく、こういったことは想定しているんですが、もう少し広げたような形で、いろんなことができないかなというご提案でした。当然地域の方とかこれから検討という部分が多いんですけども、「給食レストラン」というようなご提案もあってですね、検討していければいいかなというふうに思っています。

同じく次の岡崎議員も給食の関係のご質問でした。丸の2つ目に残食ゼロの活動状況ということで、これは給食の残食が非常に多いのではないかとというご質問は以前にもございましたので、どういった取り組みを今やっているかというご質問でありました。調理場、学校PTA、栄養教諭等で話をしておりまして、各学校、クラスでもいろんな取り組みをしておられますので、残食についてはかなり数字が小さく、減ってきている傾向にあります。これは当然これからも引き続きやって行く訳ですけども、このあたり一つ問題になりましたのが、どうしても好き嫌いが残食の影響多いかなと。特に魚の問題がありましてですね、こういったものやはり食習慣、食生活それも就学前辺りからやっぱり取り組まないと難しいなど。給食でも工夫ももちろんするんですけども、例えば幼稚園、保育所あたり、保育所は魚を一生懸命出していただいているので、多分小学校に上がると魚が食べられるのは保育所からきた子で、食べられないのは幼稚園から来た子というようなことも何か話題もなりました。ですから、非常に就学前からの取り組みが重要なので、何かそういったところ、ご家庭への働きかけをもっとやるべきというふうなご意見をいただきました。

次のページをご覧くださいまして、真ん中あたり、溝手議員さんから2つ目のご質問。通学路についてご質問がありました。実は通学路関係は他の議員さんからもいろんなご質問いただくことが多くて、やはりニュースで通学路の列に車が突っ込んでというようなことが再々話題になりますし、当然通学路というのは地域の生活道でもありますので、なかなか車を規制することは出来ない部分がございます。例えば今「ゾーン30」というご質問の内容は、警察が主体になって交通規制と、道路のカラーリングとを組み合わせさせたエリアを指定して、歩行者や自転車とかの安全を図ろうということがございますけれども、常盤小学校と西中の周辺2箇所だけ実施しており

ます。こういった取り組みというのは予算の関係もありましてなかなか難しいんですけども、総社流のゾーン30というものも考えられるかなということがございます。あとハード的な整備だけでなく、子ども達への安全教育も併せてしっかりやっていくべきで、当然今までもいろんな機会を見て警察に協力いただきながらやらせていただいておりますけれども、場合によっては通学路そのものを見直さなければいけないかなというようにところも市内では何件かあるようで、これは学校とかPTAのご相談も必要になりますけれども、進めていくべきというご回答をしたところでございます。

深見議員さんからは、以前もご質問ありましたように、学校現場での働き方改革がどうかということがございました。この年度から県教委もしっかりと方針を打ち出して取り組んで下さいということもありまして、帰宅時間とか時間外とかある程度いろんな工夫を積み重ねて成果が出てきつつありますけれども、あとは現場の負担を軽くするような補助員的な制度も今少しずつ拡充しておりますので、こういったものも組み合わせながら、これは教員一人一人の意識の問題もありますので、いろんな工夫をして取り組んでいきたいということでございます。

最後のページは、村木議員から東京オリンピックの事が出まして、これはまだどうなるかわかりませんが、全国的に事前のキャンプを誘致しよう、いろんな国や地域と交流しようというような取り組みを内閣府主体でやっております。これは手上げ方式で、各国の競技団体からオファーが来ないと難しいですけども、たまたまご縁があつて、オマーン。あまり聞き慣れないですけども、一つ話が動いているということがございます。

それから最後に小川議員からも保育の関係でございました。待機児童の見込みはどうか。頑張っているんですけども、これはまだちょっとはっきりとお答えが出来ないような感じで、当然ゼロにしたいということでもありますけれども、一番の問題は、受け皿のハードは、定員とかまだあるんですけども、保育士がいないんで受け入れられないという声が本当に各園とも口を揃えてあります。特に0歳から2歳の3人に1人、6人に1人とかに保育士1人が必要な低年齢の所ですけども、このあたりで30ぐらいが調整できない状態が続いているところです。ハードをこれから拡充するというのは難しいんですけども、預かり保育とかで少しでも吸収できるような形で今後も検討していきたいということでございます。

後は少しご覧いただければと思います。よろしく願いいたします。

服部教育部長 すみません。もう1件ご報告と言いますか、先ほどの人事案件ということではないんですけども、米谷委員さんの任期が、この5月の11日でまる8年ということで、任期がまいります。今まで教育委員長もお世話になっているんですが、現在でも職務代理ということでご活躍いただいております、定例の委員会でも非常に積極的ないろいろなご意見をいただいておりますし、特に社会教育の分野では、池田の体育特区もお骨折りをいただきまして、何とか軌道に乗ったというのは先生のおかげであったと思っております。我々としてももう少しの間お力をお借り出来ないかなということもあったんですけども、もともと教育委員会そのものがいろいろな意見を聞く場である。多様な人材を充てていこうという考えもございました。一つ事情とい

たしましては、色々な事業を教育委員会でも進めておりますけれども、美術博物館の建設というのは少し、これ以前からありましたけれども課題となっております。こういったことも意識しまして、文化芸術関係の方はどうなのかなという意見が内部でございまして、教育委員は議会の同意案件でありまして、現在議案のほうを上程させていただいております。米谷委員のご後任という形になりますけれども、上程さしあげておりますのが、陶芸家の児島塊太郎先生。今、倉敷芸科大学の副学長もなさっているということで当然芸術関係には造詣が深い方ということでどうかということ。人事案件でありまして詳しくご相談もできませんでしたが、米谷委員はまだ任期がございまして、これから卒業式とかたくさんございまして、引き続きご協力いただければと思っています。少しご報告が遅くなりましたけれどもこういった方向ですすめさせていただいておりますので、よろしく願いいたします。

山中教育長 ではこれで審議がすべて終了いたしましたので、本日の教育委員会を閉会いたします。

【閉 会】

閉会 午前10時26分

上記記録している内容は、正確であるので署名する。

平成 年 月 日

教育長

委 員

職 員